

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調書

4-I-10

4-I-10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	二次交通の充実・改善
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市交通政策課
事業(施策)名	10 路線バス運行計画の推進	関連団体	新潟交通佐渡(株)
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 繁忙時、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 路線バスの効率的な運行、観光客の利便性確保に向けて適切な運行計画の推進を図る。 ○ 路線維持確保のための公的補助等を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活交通としてバス路線を維持確保し、輸送需要に応じた効率的な運行体制に転換する。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島内バス路線を維持確保するため、国・県・市による運行補助を実施。 ○ 二次交通を充実させるため、主要な観光施設への路線バスを迂回・延伸運行を実施。 ○ バスフリー乗車券の販売、モバイルチケットの導入。 ○ 閑散路線のデマンド方式による実証運行を実施。 		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスの維持確保のため公的補助の継続 ● 主要観光施設への迂回・延伸運行の継続 ● バスフリー乗車券の販売継続 ● 市単独補助路線におけるデマンド方式による実証運行 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスの維持確保に向けた公的支援を実施するとともに、二種免許取得費用や奨励金などの補助メニューを新設し、新たに3名の運転手を確保できた。 ● バスの路線を減便するなか、交通事業者の協力により主要観光施設への迂回・延伸運行を継続できた。 ● バスフリー乗車券は各月において前年度を上回っている。 ● コミュニティバスとスクールバス混乗を組み合わせた地域内デマンド交通について、南佐渡エリアにおいて実証調査事業を実施した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運転手不足によりバス路線の減便を余儀なくされている。特に、海岸線沿いの地域内交通や二次交通の確保が課題である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生活交通としてバス路線を維持確保するため引き続き運転手の雇用促進に取り組むとともに、将来減便が想定される地区において輸送需要に応じた効率的な運行体制に転換する。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成度】 ◇ 公的支援によるバス路線の維持や、バス運転手の新規雇用により次年度以降の二次交通を確保できた。</p> <p>[A ・ B ・ C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。